

No. **3** 号
2018年7月号
(平成30年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ……第14回 ひらつか市民活動センターまつり開催
P.2 ……団体レポート 子供と親の環境教室『地球っ子クラブ』
P.3 ……お役立ち情報
P.4 ……センター情報

団体 レポート

子供と親の環境教室『地球っ子ひろば』



センター情報

第14回 ひらつか市民活動センターまつり開催!! 「笑顔の数だけ人はつながる」 9月23日(日) 10:00~15:30

センターまつりは、福祉・環境・防災・国際交流など、さまざまな分野でより暮らしやすいまちづくりをめざして活動しているNPOや市民活動を、広く一般市民の方々に知っていただくために開催しています。今年は54団体の市民活動団体が、模擬店・バザー・喫茶・体験・ボランティア相談・展示・パフォーマンスなどを行います。他に、小さなお子さまから大人まで楽しめるスタンプラリーやスーパーボール・輪投げなどの企画も用意しています。

「笑顔の数だけ人はつながる」たくさんの笑顔に出会えるおまつりです。そして、笑顔で人と人とがつながり

新しい出会いや可能性が見つかる場です。

ご家族、お友だち、お知り合いを誘ってぜひ遊びに来てください。お待ちしております。

会 場 ● ひらつか市民活動センター
(八重咲町3-3 JAビルかながわ2F)

お問合せ ● ひらつか市民活動センター
☎0463-21-7517

*スタンプラリーの景品を募集しています。
未使用の日用品、小物、文房具などのご協力をよろしくお願いします。

団体
レポート

子供と親の環境教室『地球っ子ひろば』

地球環境の変化、特に温暖化という重要な課題を、身近な自然体験と物づくり体験や実験を通して、子どもたちに環境・自然の大切さを感じてもらいながら環境問題について考えることを目的とした「子供と親の環境教室『地球っ子ひろば』」をご紹介します。

■地球っ子ひろばのご紹介

神奈川県環境科学センター(平塚市四之宮)主催の「環境学習リーダー養成講座」の卒業生有志で、2002年4月に「地球っ子ひろば」は設立され、現在は齋藤代表以下11名のスタッフで同センターを主な拠点として活動しています。定例教室(8回/年)を始め、学校・市・公民館等からの依頼で出前授業(4回/年)の開催、ひらつか市環境フェア・公民館まつり等各種イベントにも精力的に参画し活動しています。

2007年には創立5周年記念事業として、市民活動ファンドを活用(第1号)し、環境意識の啓発を目的とした「エコかるた」を制作し、市内小学校28校・盲学校・ろう学校・養護学校2校等に配布し好評を得ています。また、地球っ子 Book「渋田川たんけん」という生き物がたくさん載った美しい冊子も発行されています。受賞歴はリビング湘南夢プロジェクト大賞(2007年)を始め多数受賞されています。



子どもにも大人にも人気の「エコかるた」

■太陽の光で遊んで学ぼう

2018年5月19日(土)、環境科学センターで小学生を中心とした環境講座が開催されました。今回の教室は①地球温暖化の現状と太陽のエネルギーを知る ②ソーラークッカーを作り太陽光で調理する ③太陽エネルギー体験とソーラーおもちゃで遊ぶことをテーマとし、教室での太陽に関するクイズ形式の座学と実際に外に出ての実習の2部構成で行われました。

◎第1部(講座)

太陽は私たちの生活にいかに密接に関わっていて、地球の温暖化はどうして問題なのかを、身近な事柄からクイズ形式で学びました。すべての子どもたちが積極的に参加し、正解不正解に関わらず大歓声をあげていました。

◎第2部(実習)

ソーラークッカーで調理をしたり、太陽エネルギー体験やソーラーおもちゃで遊びました。あいにく曇りがちでしたが、短時間でお湯が湧いたり、ウィンナーが焼けたりとしたのを目の当たりにして、理論と実践が繋がったようでした。また、太陽電池パネル部分を手で隠したりと遊び方にも工夫が見られ、もう少し時間が欲しいと言う声も聞こえました。



活動を続ける秘訣はメンバー自身も楽しむこと

■みんなで考えるキッカケにしよう

設立以来、地球っ子ひろばの定例教室は150回を超えています。テーマ選定については子どもたちの関心が薄れないように、企画段階から子どもたちが参加し希望を取り入れて、遊び心を忘れず“楽しみながら分かりやすく”をモットーに教室を開いています。その効果として6年生卒業まで多数の生徒が継続的に参加し、さらにボランティアで参加していた人の中には、自分の故郷に帰って「地球っ子ひろば」を立ち上げており、確実に裾野は広がっています。一度、「地球っ子ひろば」のホームページを覗いてみて下さい。必ず気持ちに響く項目があるはずです。夏休みに是非一度参加してみたいかがでしょうか。自分の身近な問題から環境について考える一つのヒントになるとと思います。

撮影協力:「湘南フォトファミリー」

中戸川幸雄さん、山鼻健二さん

お役立ち
情報 1

暑い夏も、元気に、気持ちよく活動したい

今年も暑い夏がやってきました。

屋内外で活動する団体の皆さん、体調管理をこまめに、この夏の活動を元気に乗り切りましょう！

1 質のよい睡眠は元気の源

健康であれば、体調不良や怪我の原因のリスクも低くなり、たとえ怪我などをしても回復が早いです。エアコンなどを使って質のよい睡眠を十分にとり、心身の回復に心がけましょう。

2 休憩と水分補給をこまめに

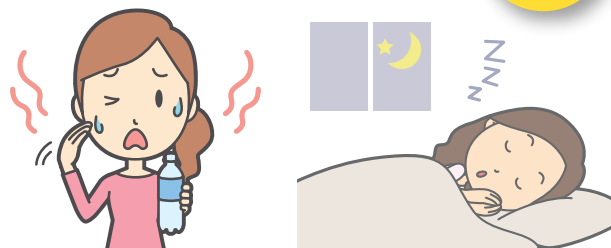
活動中は声をかけ合い、こまめに休憩と水分補給をとり熱中症にならないような対策をとりましょう。頭痛・吐き気を感じたらすぐに涼しい場所へ移動し、身体を冷やして塩分を含んだ経口補給水を取りましょう。重症化していると感じたら救急車を呼ぶことも必要です。

3 熱中症・日射病・細菌性食中毒も補償対象に！

今年度から平塚市市民活動災害補償制度では、市民活動中に熱中症・日射病・細菌性食中毒になった場合にも補償されるようになりました。

平塚市 市民活動災害補償

検索！

お役立ち
情報 2

夏の心配事といえば「大雨・暴雨・台風」

あなたの家は安全ですか？

という質問に対し、様々な災害に対し大丈夫ですと答えられる家は、日本にはほとんどありません。日本は地震、台風、洪水などの自然災害に対して対応する能力は世界の中でも高いのですが、自然災害が発生しやすく、先進諸国の中では最も危険度が高いという国連大学の調査結果が出ています。

平塚は大丈夫？

最近の水害ニュースで、「ここに住んで60年になるが、こんなに水が出たことはなかった」という住民の方の驚きの声をよく聞くことがあります。

私たちが住む平塚はどうでしょう？ 金目川はもともと暴れ川として知られていて、たびたび大洪水に見舞われてきました。近年金目川は河川整備が進み、以前ほど洪水による大きな被害が少なくなってきました。しかしながら、台風などの大雨時に一部地域では床上浸水被害が発生しています。ところが洪水にあった地域以外の人たちは平塚で水害があったことも知らず、自分が災害に遭遇すると思ったこともないのではないのでしょうか？

これまで経験しなかったような豪雨による土砂崩れや洪水により、人命や家財に大きな被害が毎年どこかで発生してきています。4つのプレート境界付近に位置する日本列島では、首都直下地震などの大地震がいつどこで起こってもおかしくありません。

自然災害から自分で自分の身を守る

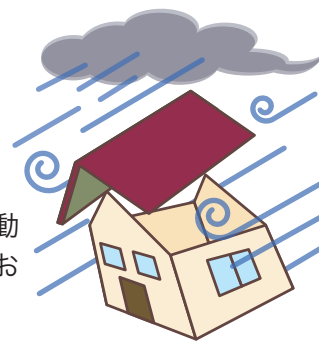
人は経験したことがないことは起こらないと思ってしまふようです。自然災害は執念深く繰り返し起こります。私たちは過去の失敗や事故、災害に学べるのでしょうか？ 事故や災害などの記憶をとどめる努力をしていなければ、

個人の記憶は3年、地域の記憶は2世代60年で消滅してしまうといわれています。特に数百年に一度の東日本大震災のような大災害は、発生頻度や間隔が長いので災害の記憶は社会からも忘れられがちです。

私たちは常に自然災害が起こることを意識し、

- 自分の目で見ると
- 自分の頭で考える
- 自分で決める
- 自分で行動する

ことを、主体的、能動的に行動できるようにトレーニングしておくことが大切です。



平塚には市立博物館があり、災害の記録や地形・地質に関する情報がまとめられています。市役所からは各種ハザードマップが出されています。

まずは我が家の周りの地形、地質を調べどのような災害が起こりそうか考えてみませんか？

寄稿 西岡 哲氏

ひらつか防災まちづくりの会 監事
金目川水系流域ネットワーク 副代表

センター情報

● 団体活動にお役立てください！

8月のコミュ☆カフェ & 市民活動応援講座をご案内します。

8月のコミュ☆カフェ
「いざという時の防災まめ知識」

「いざという時」は突然やってきます。「段ボールトイレのつくり方」「ごみ袋を使った雨ガッパのつくり方」「バンダナを使った応急手当」「簡単でおいしい防災クッキング」など女性ならではの工夫がつまった知識と一緒に学び、体験しましょう。

日時 ● 8月8日(水)
10:00～12:00

定員 ● 20名

参加費 ● 500円(資料代・お茶代)

ゲスト ● 女性防災クラブ「平塚パワーズ」



「はじめての助成金講座」
～申請と活用する方法～

助成金はNPOや市民活動団体にとって大きな支えとなりますが、そもそも助成金とは何でしょう？実は助成金は獲得した後が“重要”といいます。この機会に助成金の基本と申請のポイント、助成金の活かし方について学んでみませんか。

日時 ● 9月29日(土)
13:30～16:00

定員 ● 30名

参加費 ● 1000円(資料代)

ゲスト ● 山田泰久氏

(NPO 法人 CANPAN センター代表理事)



センター情報

● 新規登録団体のご紹介

2018(平成30)年3月～6月にかけて登録された市民活動団体をご紹介します。

● 白路湘南支部(社会教育の推進)

短歌を学びに第三日曜日午後教室を覗いてみませんか！！

● NA DEAD OR ALIVE グループ(保健、医療又は福祉の増進)

薬物の問題を抱えている仲間たちが分かち合いの場を作っています。

● 湘南 1000 年の森倶楽部(環境の保全・まちづくりの推進)

湘南地域にその土地本来の森を残すことを目的とします。

● かながわ企業サポートネット(経済活動の活性化)

地元中小企業を元気にすることにより従業員の雇用の安定とその家族の生活の安定を図ります。

※ひらつか市民活動センターのHPに詳しい情報が載っています。



平塚市 市民活動団体

検索！

編集後記

大阪で強い地震が発生しました。首都圏は今のところ大きな災害は発生していませんが、対岸の火事では

ありません。日頃から災害に対する準備を怠らないようにしましょう。(長谷川)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始を除く)

〒254-0811

神奈川県平塚市八重咲町 3-3 JA ビルかながわ 2 階

TEL ● 0463-21-7517 FAX ● 0463-22-3701

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2018年6月30日現在)

登録団体数: 495 団体

(内訳 市民活動団体…352 団体、一般団体…143 団体)

